浪苍芳島觧刑餘婦屍之圖

婦歳三十七

附録

頭骨

全骨

胞衣雙胎之圖

去外皮次皮及筋肉
見腹膜圖
イ肝
ロ胃
ハ大機里爾
ニ大腸
ホ細腸
ヘ臍鑾度
ト膀胱蠻度 白色三叉者
チ腹縦膜
リ腸網 膜下黄色者

示諸腸見腹底諸脉
イ肝 ロ胃 ハ機里爾
ニ膽 ホ脾 ヘ腎
ト血脉大幹 チ動脉大幹
リ精道 従動血二大脉起下達卵巣
ヌ輸尿道 由腎白走従腎至膀胱
ル小腹膜 支络子宮
ヲ脊椎 ワ縮直二腸
カ小腹白走 ヨ子宮
タ廣靈度 レ圓靈度
ソ膀胱 ツ膀胱之膜
ネ虫腸 ナ楏骨
ラ薄腸 即小腸
臍靈度
示肝膽脾胃大機児尔下膈膜
イ肝 ロ胃 ハ大機里尔 ニ膽
ホ脾 ヘ下膈膜 ト門脉

リ 機里尓膽ニ汁注此解剖之
時不用意膽汁注盡
ヌ 自胃之下口至薄腸之諸腸
膽汁常注而消化食物故
裏面帯膽汁色
十二指腸
大機里爾 在胃底出酸汁注于十二指腸
イ 機里爾
ロ 脾 巨血脈連胃与機里爾
ハ 下膈膜 機里爾附着之
ニ 膽管 今略上下
ホ 連胃脉 略胃
大直腸見子宮
懸白建 白建者小腹之陥處
イ 脊椎
ロ 子宮
ハ 膀胱
ニ 廣靈度
ホ 圓靈度
ヘ 膀胱之膜
ト 穿廣靈度示卯巣之懸處

ヌ 精道 上略

次直腸子宮倒膀胱示白建尿道

イ 腎 宛五腎被官注靛汁見其所定

ロ 小腎

ハ 血脈大幹

ニ 動脈大幹

ホ 脊椎

ヘ 輸尿道 自腎白建

ト 翻下膀胱 倶靛汁色青

チ 八髎神経

リ 小腹白建 縦擡四寸自楗骨至髎骨之隆四寸

腎全形

輸膀胱尿道潤處謂之腎白建

剖腎

イ 尿道孔

從血脉注濃墨汁試血与尿之分利

腎得墨色黒

徐捫腎則淡墨汁下白建一二滴

剖容墨汁腎

以利刀剖之急見之墨色至中漸淡

膀胱 質似子宮稍軟

イ 自腎輸尿道

假獮猴之膀胱于此示上口之閉筋

目管注靛汁

イ 閉筋 胞満愈閉

ロ 潜行皮裏尿道

ハ 尿瀉膀胱孔

前陰

イ 底孔

ロ 尿翼

ハ 尿孔

ニ 陰門

剖陰見子宮口

イ 莢中之皺

子宮

喇叭管

就全可見割
截之後不可見
今以難図設于
此

剥廣蠻度見子宮質

滑脉注靛汁餘血因之
見宮内如下図朱箭

同上

剖子宮見其裏示精道
卵巣喇叭管

イ 精道

ロ 卵巣 ト 九子孚出孔

ハ 喇叭管 自苍义送黒豆試卵道豆至窄處止

ニ 子宮裡面

ヘ 喇叭管穿處以針試

チ 苍义

目釘擴精道見錯綜

イ 精動脉

ロ 精血脉

剖卵巣見小九子

推心肺右側翻動脉大幹見奇縷管

イ 肺

ロ 心

ハ 動脈大幹

ニ 奇縷管 原注瀝汁會以混血脈遂赤色

ホ 注瀝汁管

ヘ 奇縷管至此合血脈

ト 門脈

チ 下膈膜奇縷管 添門脈白道

リ 左腎

ヌ 自奇縷管上口送諸汁於下則至此處止不進蓋為有奇縷科付之機累再

ル 横膈膜 截去其半

ヲ 血脈 受奇縷於左鈌盆骨下送心之右室

今假設為一図示膈上奇縷管全形 去脊推從背後見之図

奇縷管會在鈌盆骨下之血脈之図

血脈

動脈大幹後面

左肺

右肺

奇縷管

横膈膜

肺全形

イ 肺動脈 受心之右室之血循肺 傳肺血脈

ロ 肺血脈 送血于心之左室

ハ 氣管 呼吸之道路

ニ 食道

心全形

イ 守脈

任脈位之線

ロ 心耳

動脉大幹

肺血脉

肺動脉

血脉大幹上下者

ロ

血脉大幹自上下者

横剖心見左右室

右室

左室

縦剖心見右室

イ 右室中之膈如枝肉筋以膜連

ロ 右室凹處

ハ 片月様瓣

肺血脉

動脉大幹

肺動脉

血脉大幹

血脉大幹

イ 左室中之隔如枝肉筋以膜連

ロ 左室凹處

ハ 片月様瓣

動脉大幹

血脉大幹

肺動脉

肺血脉

血脉大幹

各文獻先生真骨秘藏之図

余略記之也各先生ハ余師之文友也

第一頭骨前面

冠縫
冠骨
前頭骨
額角骨
額骨
前頭骨端
顴骨
旁縫
顳骨
前角縫
涙骨
肉凡骨
承漏骨
觀骨
八字縫
薄片骨
隔骨
上齶骨
下齶骨

眉稜骨
鞍橋骨
髑髏骨端

目窠内之縫合謂之衲衣縫於此図施其符則繁而失其真矣是以略之覧者宜留意焉

第二頭骨側面

鱗様縫
顳顬骨
路骨
路茎骨
耳門骨
鈹針骨
乳様骨

第三頭骨裏面

後頭骨
枕骨
大孔
靴骨
榎骨
石骨
函
如翼骨
弓様縫
前鍔骨
上断基
無名縫
後鍔骨

納衣縫 目窠内ニ於テ左右上下ノ諸骨會聚スル所ノ縫ナリ此縫域ノ骨ハ乃チ

第四見下鍔全形

圓䑼
鍵鋒
茎䑼
下断基
轉角
頷骨

截断下鍔見其中

截齒見鍼孔

齒

門齒
虎齒
槽齒
盡根齒

牙

門牙
虎牙
槽牙
盡根牙

第五見巓頂骨及冠矢角鱗諸縫合

前頭骨端
前頂骨
後頂骨
巓頂骨
矢縫
角縫
後頭骨
三尖小骨

第六中断頭骨見其中

雞冠骨
篩骨
鞍橋骨端

二符之骨及●者神経所通也

第七中断頭骨見蓋裡脉溝
前ニ書ス
截断石骨見蝸牛殻
聴骨
ら 鎖 オノ
な 鎚 ツナ
う 鐙 アブミ
む 丸
全躯ノ骨骸コレヲ分チ五等
ト為ス上躰中躰下躰上支
下支是ナリ其骨ノ總計スレ
ハ六十四アリ之ヲ正名トス
其數ハ二百七骨ナリ又其
骨中ニ於テ或ハ主用ニ
由リ或ハ形状ニ由リ或ハ
所在ニ由リ別ニ其稱ヲ
設クル所其名總計スレ
ハ二百八十八アリ之ヲ
補辞トス其数ハ六百
二十一ナリ然ドモ其名
ハ一ニシテ其骨ハ二ツア
ルカ如シ又人身稟受ハ
全骨前面

大同小異ナルヿアリ必定シカ
タシタトヘバ三小大小骨ノ如
キハ或ハ左方ニアリテ右方ニ
無キモノアリ左右共ニ無キ
モノアリ又骶骨或ハ三ツ
ナルモノア或ハ四ツナル
モノアリ故ニ其数ヲ
決シカタシ又胎兒
嬰孩ハ其骨数大
人ト大ニ殊異ナル
所アリ
全骨後面
胞衣之圖
設為子宮
内胞衣之
圖示血
脉不
仁二
膜之
本状
イ
ロ
ホ
ト
ニ
ハ
イ
細絡相聚如肉团着子宮
底大八拇指横径厚二拇指横径浸漬母
之血于此傳臍帶之血脈
送之於胎之所蔵周流一
身而自臍帶之動脈傳
此帰母體
ロ
血脉膜在外面白赤色之
細絡數多形如太毛石鷄
ハ
皮

不仁膜隔血脉膜見
二 不仁膜光滑之薄膜裹胎与漿水
ホ 隔不仁膜見胎
ヘ 臍帶
ト 剖血脉膜見其内
チ 血脉膜與不仁膜間空氣有厚
胞衣翻倒下子宮
イ 胞之内面免時以胞系見引翻倒下子宮故世人誤為外面
ロ 血脉本會胞系末達外面
送迎子母之血
ハ 臍帶
ニ 出胎破口
自母送血血脉
自胎帰血動脈
胞衣之外面
イ 附着子宮底聚細絡
ロ 外面如鶏皮者
ハ 臍帶

示不仁膜
投水分之
不仁膜
示胞系側起
イ有凹處盖胞系逼處
ロ臍帯胞之血脉至此合為三條緑兼纒之
大如栂指其質如章魚脚之皮者一頭
起胞之内面一頭連臍入肝
ロ
ハ自胎帰血ヲ動脉
ニ自母送血血脉

示雙胎之胞

一胞両系其形惰圓

イ 師曰見雙胎之半産一死一生者生胎之臍系鼓動送血于母體按之搏指如得邪脉

述懐

我 祖名ヲ瀆ヿヲ本トノ 国許ヲ得テ浪花ニ足ヲ留ルヤ否ヤ父ノ他界ト聞テ神魂正ニ絶ト欲スルノ思ヲナス日夜唯タ嘆息止ヿ無ク東西南北ニサマヨウヿヲ願ト雖モ懐之メ及ハス或日ニ帰ヲ思ユ或日ニ学ノ廃スヿヲ悲傷ス屈テ學ヲ僕トナル夏ハ衣ノ厚ヲ服ス冬ハ衣ノ薄ヲ凌キ或則

八市中ノ賤俗ニ恥カ令メラレ忿心ヲカクス嗚呼余カ三ツハ不足アル以ナリ
不熟學ト懐之ト若輩ナルトノユヱナリ實ニ一日モ苦意安キヿ無シ
師ハ本ヨリ名アル博学兼仁ノ人ナリ余カ貪ナルヲ憐テ教授惰ルヿナク余
愚ナリト圧師ノ萬言其一二ヲ心ニ印メ忘ナク禽獣ヲ刻解メ指訓
ヲ受ケ又在則ハ刑死ヲ解テ真疑ヲ問エツイニ図ヲ借テ以テ此ヲ
写ス然ト雖モ之図千萬ニ其一二ヲ盡ス又餘力アル則ハ之ヲ補増
セシ略記此ヲ子孫ニ傳フ子孫余カ意ヲ續ク則實ニ幸甚タラン
乱ニ他見ヲ許ヿ勿レト云々

羽州秋田山本郡停代之住人

安保一貫謹書